

SDGsエコポスターコンクール2026

入賞作品



座間市長賞

きれいな海を
未来にも

入谷小学校6年
鈴木 美琴羽 さん

私は夏休みお父さんの実家の山形に帰っています。そして歩いてすぐに三瀬海岸があります。三瀬海岸は日本海に面して静かできれいな海岸です。この海岸で3年かけてシーグラスを集めました。シーグラスはもともと人間が捨てたガラスビンが波にもまれて角が取れて、曇りガラス状になったものです。別名人魚の涙とも呼ばれています。この作品を作った理由は二つあります。一つ目はいつまでも変わらない海の姿でいてほしいこと、二つ目はゴミから生まれたシーグラスは美しいものに生まれ変わり、そのことからSDGsのテーマにピッタリだと思いました。このポスターを見て、たくさんの人がきれいな海をいつまでも守り続けたいと感じてほしいです。

イオンモール座間賞

きれいな海を未来へ

相模野小学校5年
志村 奏多 さん

人間たちがなにげなく捨てたゴミが海に流れて海の生き物たちを苦しめているかもしれません。
この絵では、ウミガメが海のゴミをせおっているように描きました。
それは、海の生き物たちが人間のだしたゴミをせおわされているように感じたからです。
海の豊かさを守るために、ぼくたちにできることから始めれば、海の未来を変えられると思いました。



座間市教育長賞

森を守ること、それは命を守ること

南中学校1年 古賀 美藍 さん



最近、森林伐採やゴミのポイ捨てのせいでくまが森から街へ降りてくるというニュースをよく目にします。なので、15番の「陸の豊かさを守ろう」をテーマにポスターを描きました。

その中で工夫したところは4つあります。

1つ目は、場面を2つに分けて森林伐採の進行が続いたときの未来と、伐採をやめて自然を大事にしたときの未来を比較して描いたところです。

2つ目は左側のくまたちの表情は、森を追い出されたことの怒りと悲しみ、そして人間への恐怖心などが混ざった表情にしたこと。右側のくまたちの表情は自然豊かな森の中でゆったり、落ち着いた顔つきにしたことです。

3つ目は、左側は暗い雰囲気なので全体的に黒などダークカラーを多めに使用しました。一方、右側は明るい雰囲気なので光の表現や背景の明るさを心がけました。

4つ目は、題名にある「命」は人間だけでなく動物たちの生命も守ることを意味しています。最後に、私は動物たちと人間が少しでも長く共存し合える環境を築くことが大切だと思ったので、これからもっと環境について学びたいです。

小田急電鉄賞

リサイクル

中原小学校5年
奥津 妃愛 さん



人は過ごしやすいするためにペットボトルやカン、ビンを作っています。それをゴミのままで終わらせてしまうのではなく、きちんと分別をしてリサイクルすることでエコになりみんなが長く住み続けられる町づくりをすることができるという思いをこめて書きました。

ざまりん賞

世界の「現状」

私がこの作品を書いたのは、この作品を見た人全員に世界の「現状」を知ってもらいたいからです。

私たちは自分の好きなものがたべれたり、健康バランスの整った食事をとることができるけど、世界には自分の好きな物どころか食べ物をたべれるかどうかもわからない子もいます。

この現状を日本の全員が知っているとはかぎりません。

私はこのポスターを通して世界中の誰もが好きなものを食べられ、健康に暮らせる社会を作るために、私たち若い世代が関心を持ち、声を上げ続けていくことが大切だと強く思っています。



東中学校2年
神原 菜々子 さん

優秀賞

豊かな自然や命のつながりを未来へ

栗原小学校5年 杉浦 和希 さん

私の選んだテーマは⑮「陸の豊かさを守ろう」です。
私たちの住んでいる陸は今も生きています。
土をつくる生き物たちも大地に降る雨も緑を
照らす太陽も未来に生きていける力となる
ことをメッセージにしたいと色を使って書いて
みました。
私たちにできることは力強い陸をつくるため
に生きていることを知ることからだろうと思
います。
神奈川県の花でもあるヤマユリは今年もき
れいに咲いていました。
地面の下で見えない今も球根は元気に生き
ています。

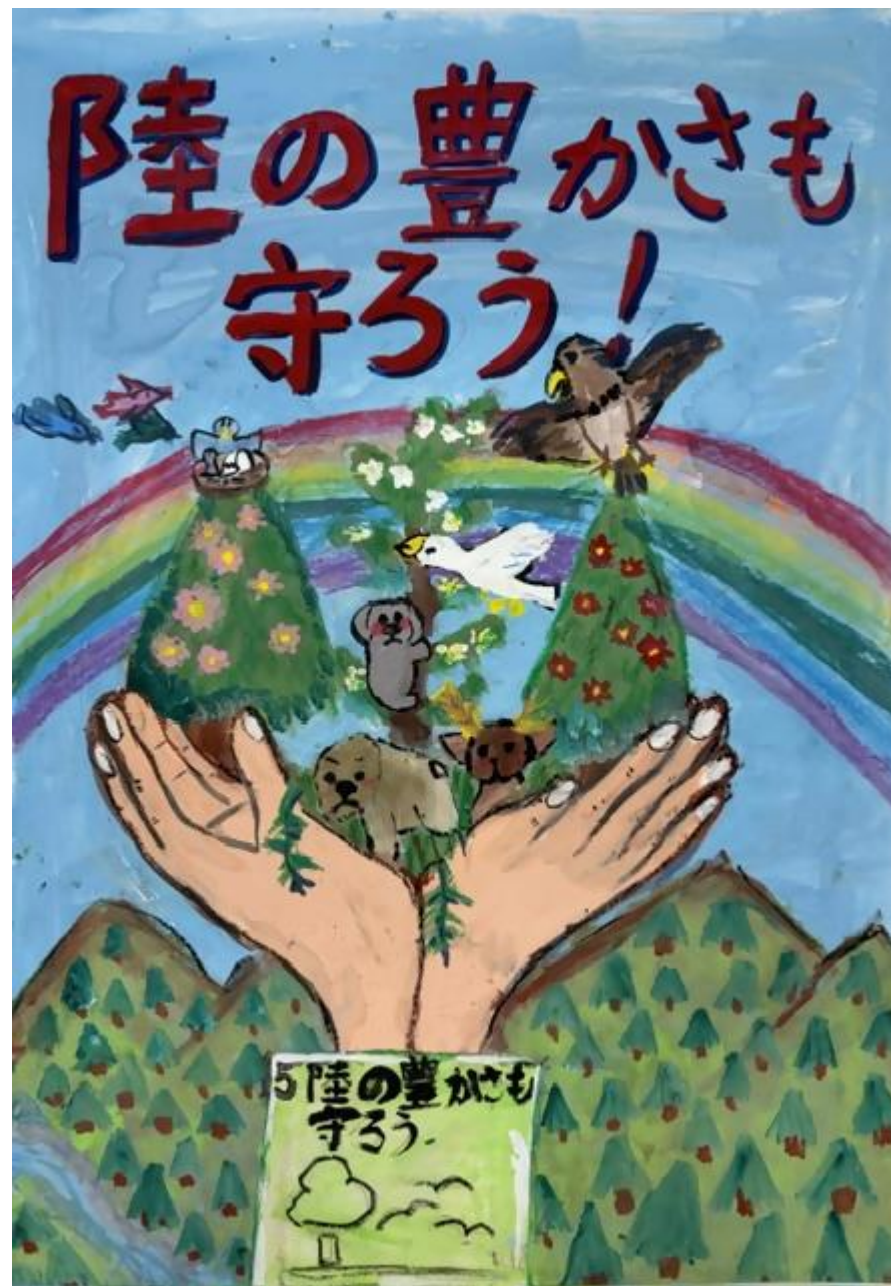


優秀賞

動物の環境を守っていこう。

中原小学校5年
門倉 知日子 さん

私は、15番にしました。
選んだ理由は、動物が、すごく好きだからです。
私がかいた絵は、人間の手をかき、動物たちを守っているのかきました。
いま、私がしたいことは、動物がすめる環境をつくりたいことです。



優秀賞

海の未来は
私達の手の中に

栗原小学校6年
吉田 美空 さん



今の海の状況は私達の手によって汚れていたり魚がきずついてしまったりしている。
だから海の美しさは私達の手の中にたくされているという事を伝えたくてこのポスターを書きました。
このポスターを通して少しでも海がきれいになり、魚が少しでもきれいな海などを泳げたらいいなと思います。

優秀賞

ストップ！温暖化！自分たちができること

東原小学校6年 渡邊 理仁 さん



なぜこのテーマにしたのかというと、温暖化が進んでしまうと、動物や植物などの自然が困ってしまうことを知り、少しでも食い止めたいと思ってこのポスターを描きました。

工夫した部分は、温暖化を防ぐために「ストップ！温暖化！」の文字を太文字にして赤とかの目立つ色で描いて分かりやすくしました。

あとは、具体的にやる行動をかいてすぐにできるように工夫しました。

ぼくもポスターを描いて終わりではなく、こまめに電気を消すとか、ゴミは分別してリサイクルするなど、自分もできることから始めたいです。

優秀賞

未来の地球

相模中学校3年 高野内 梨乃 さん

地球を中心に広がる7つの花は、真上から時計回りに「大地の乾燥、巨大な台風、氷河の融解、火山の噴火、深刻な大雨、急激な海面上昇、記録的な猛暑」を描いています。これらはすべて、今世界で起きている気候変動や自然の脅威をモチーフにしたものです。誰も想像できない「未来の地球」だからこそ、あえて不思議な空想調のデザインにし、見た人の興味を引いて「これは何だろう」と考えさせる仕掛けにしました。自然からの警告を受け止め、具体的な対策を始めたいという思いを込めています。





優秀賞

みんながごはんを
食べれる世界

東中学校2年
佐久間 優和 さん

今現在、世界にはごはんを食べることができない人たちが約6.4億人以上います。
そうすると世界人口の約13人に1人がごはんを食べることができていません。
この問題を解決するためには、私たちが食品ロス削減にとりくむことが大切です
一人一人が少しでもいしきすれば、みんなが笑顔でごはんが食べられる世界になると思います。

優秀賞

ポイ捨て、やめよう！！

東中学校2年 今井 莉子 さん

校外学習で横浜に行った時に海や地面を見ると、ゴミが大量に捨てられていた。

自分が住んでいる座間市にはあまりゴミは落ちておらず、そんなにポイ捨ては深刻な問題になっていないと思っていた。

しかし、校外学習に行った時に、県内でもこんなに差があるんだと思った。

ポイ捨ては海洋汚染や生態系への悪影響を引き起こすことを知った。

だから、人事として考えるのではなく自分事として考え、ポイ捨てを減らしてほしいと思った。

